

資料一6

補 足 資 料

平成 19 年 11 月 26 日

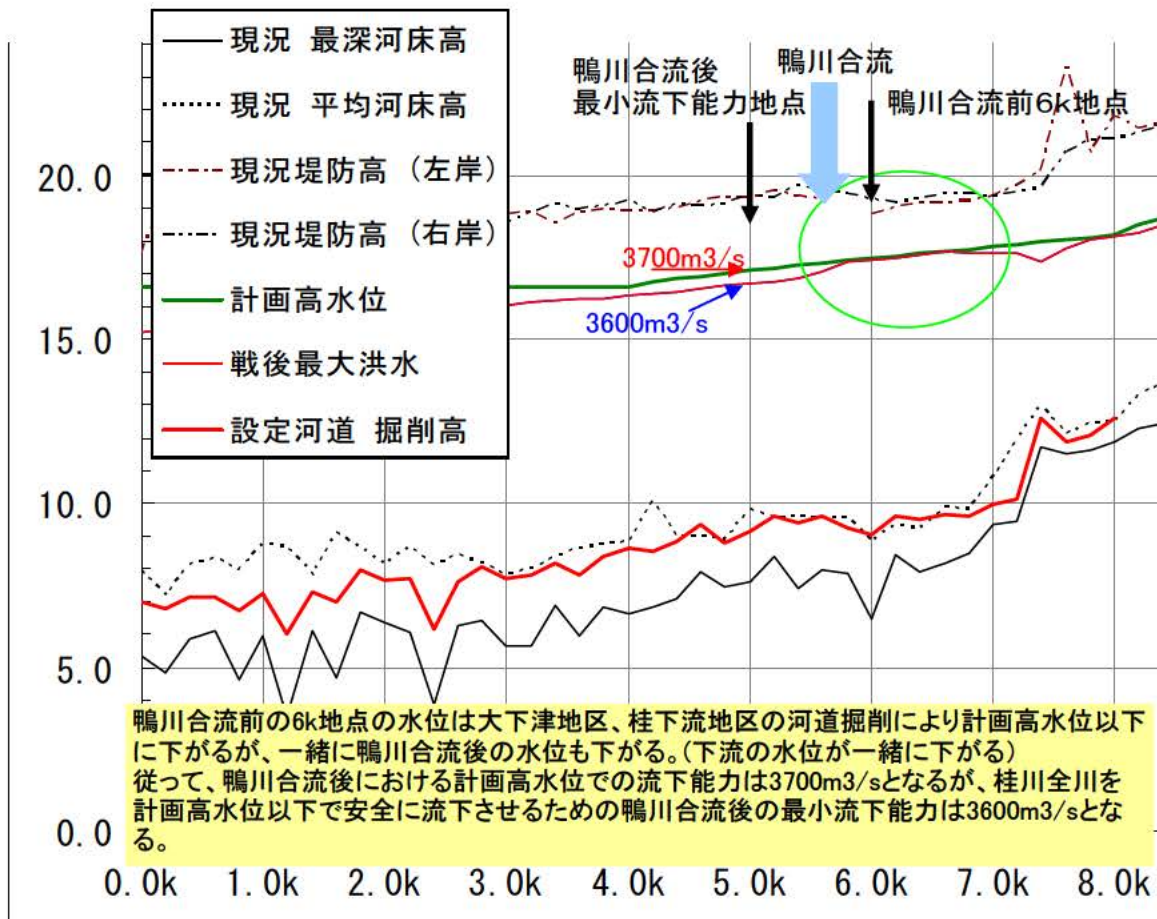
近畿地方整備局

1. 桂川の戦後最大洪水対応河道について

問

戦後最大洪水発生時の羽束師流量が3,600m³/sだとした場合、桂川下流で3,700m³/sの流下能力を確保することは過大ではないか。

- ・鴨川合流後の一連区間における最小流下能力は3700m³/sとなるが、鴨川合流後において計画高水位で洪水が流下(3700m³/s)すると、鴨川合流前の6k地点では計画高水位を超過する。
- ・従って桂川全川を計画高水位以下で安全に流下させるための鴨川合流後の最小流下能力は3600m³/sとなる。(鴨川合流後における計画高水位での流下能力は3700m³/sであるが)

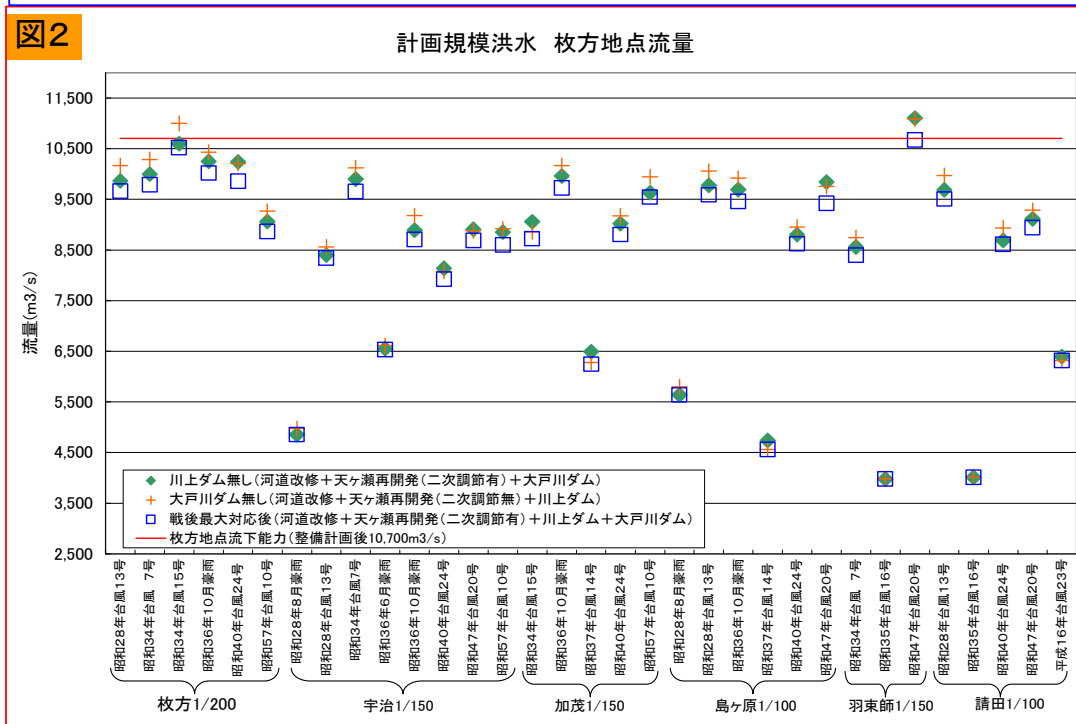
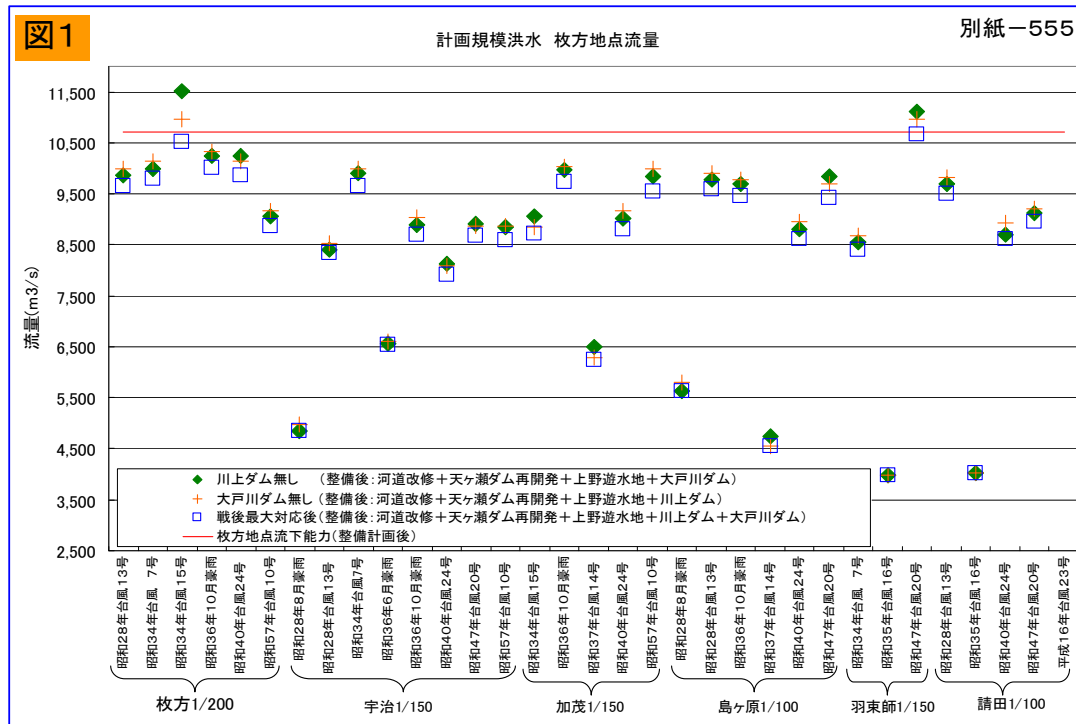


2. 計画規模洪水が発生した際の枚方地点流量について

問
No.66委資料2-2 別紙555川上ダム無し(整備後:河道改修+天ヶ瀬ダム再開発+上野遊水地+大戸川ダムあり)のケースで、昭和34年台風15号型×1.45倍の洪水の枚方地点流量は11500m³/sとなっている。しかし、No.61委資料1-2-3 P.9上段(天ヶ瀬ダム再開発あり+川上ダム無し+大戸川ダム無し)では昭和34年台風15号型×1.45倍の洪水の枚方地点流量が11100m³/sとなっている。大戸川ダム有りの方が枚方流量が大きくなっているのはなぜか。

・11月7日第66回委員会 別紙集(その2) 別紙-555(図1)について、誤りがあったため、図2のとおり修正。

・計算の誤りについては、木津川の八幡地点の流下能力及び天ヶ瀬ダムによる枚方地点向けの二次調節時の放流量の数値を誤って入力しており、昭和34年台風15号(枚方1/200)については、本来10600m³/sの数字が11500m³/sになっていた。



※・11月7日第66回委員会 別紙集(その2) 別紙-555(図1)に掲載時に使用していたマーカーが判別しにくい形であったため、併せて修正しています。

3. 淀川本川において計画高水位を超える区間、水位、時間について

問 大戸川ダムの効果として示している、天ヶ瀬再開発有り、川上ダム無し、大戸川ダム無しの場合の昭和47年台風20号型の1.53倍について、計画降水位を越える区間、越える水位、及び越える時間はどうか。(図6:#66委 資料 2-3 P3 上表)

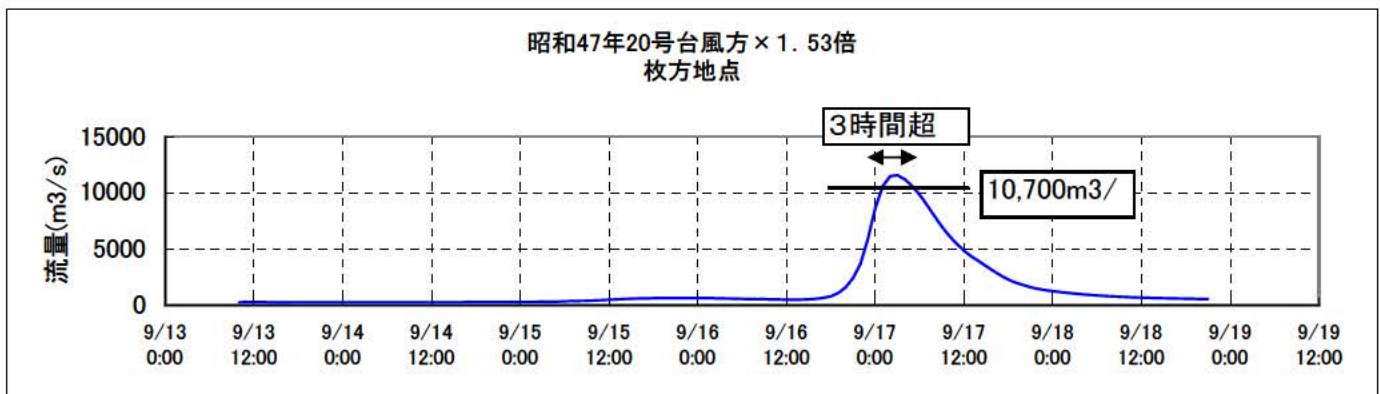
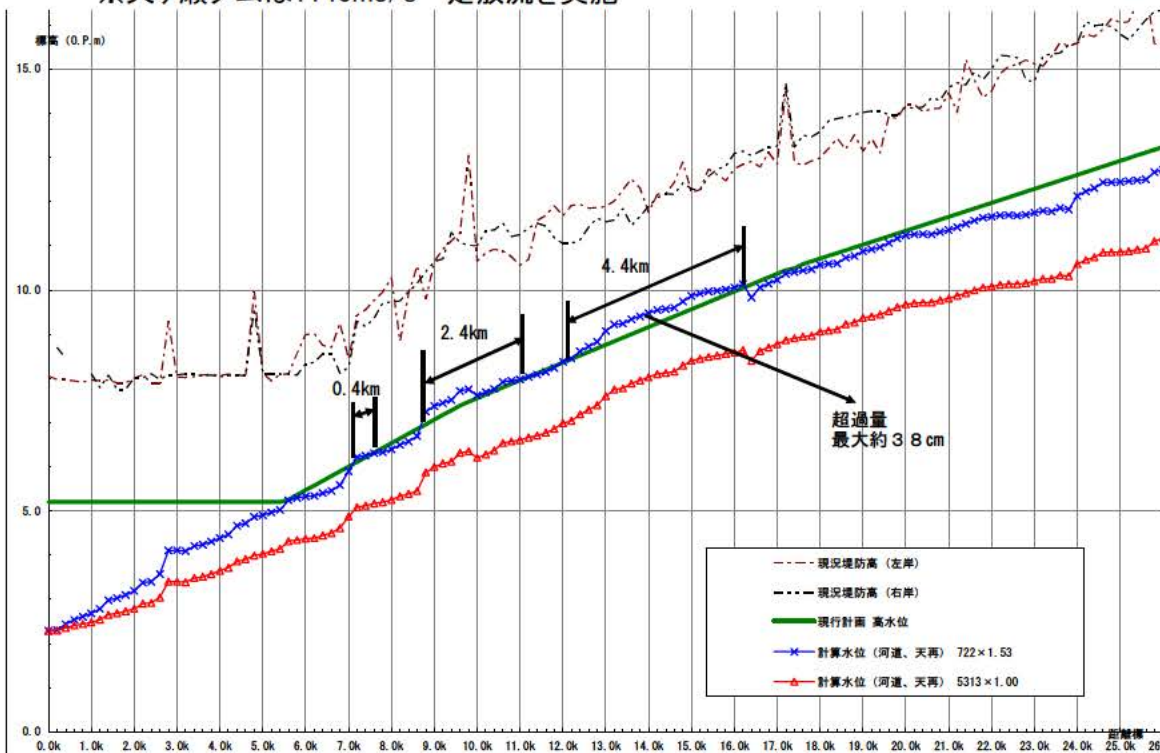
・計画規模洪水昭和47年台風20号×1.53倍における計画高水位を超える区間は7.2～7.4k、8.8～11.0k、12～16.4kの3区間あり、計画高水位を超える水位と計画高水位の差は最大で約38cmとなる。なお、今回の検討ではピーク時の流量から不等流計算により水位を求めたものであり、計画高水位を超えている時間の算定はできないが、参考として、最小流下能力地点での流下能力相当の流量を枚方地点で超過している時間を計上すると3時間となる。

計画規模 昭和47年台風20号洪水×1.53倍(羽束師1/150)

計画高水位	超過区間	400m 2400m 4400m	超過水位	最大値	最大値の地点
				7.2～7.4k 8.8～11.0k 12k～16.4k	11.2cm 33.1cm 37.8cm

超過時間(参考): 3時間(最小流下能力地点(9.6k)での流下能力相当の流量(10700m³/s)を枚方地点で超過している時間)

※天ヶ瀬ダムは1140m³/s一定放流を実施



3. 淀川本川において計画高水位を超える区間、水位、時間について

問 大戸川ダムの効果として示している、天ヶ瀬再開発有り、川上ダム無し、大戸川ダム無しの場合の昭和34年台風15号型の1.45倍について、計画降水位を越える区間、越える水位、及び越える時間はどうか。(図6:#66委 資料 2-3 P3 上表)

・計画規模洪水昭和34年台風15号×1.45倍における計画高水位を超える区間は8.8k~9.8k、13.0k~14.4k、14.8k~15.4kの3区間あり、計画高水位を超える水位と計画高水位の差は最大で約17cmとなる。なお、今回の検討ではピーク時の流量から不等流計算により水位を求めたものであり、計画高水位を超えている時間の算定はできないが、参考として、最小流下能力地点での流下能力相当の流量を枚方地点で超過している時間を計上すると3時間となる。

計画規模 昭和34年台風15号洪水×1.45倍(羽束師1/200)

計画高水位	超過区間	超過水位	最大値	最大値の地点
	8.8k~9.8k	1,200m	13.4cm	9.6k
	13.0k~14.4k	1,600m	17.2cm	13.2k
	14.8k~15.4k	800m	9.8cm	15.0k

超過時間(参考): 2時間(最小流下能力地点(9.6k)での流下能力相当の流量(10700m³/s)を枚方地点天ヶ瀬ダムは1140m³/s一定放流を実施)

